

参加者感想

【参加期間】

2011年 11月 1日 ~ 11月 7日

【参加されたプログラム名】

ベトナム孤児&日本語ボランティアプログラム

【参加の動機】

国際政治、アジア政治論、アメリカ政治論、貧困問題を大学で学ぶ中で、国際協力や海外ボランティアに興味を持ったため。

【印象に残ったこと・感動したこと】

最初孤児院を訪れた際には、慣れない異国の雰囲気、言葉の通じない環境、そして重い障がいを持った子供も多く、一歩引いてしまう自分がいました。ただ、そんな自分の手を引いてくる子、話しかけると笑顔になってくれる子、ごはんを食べる姿がかわいい子、孤児院の中で自分の役割をしっかりとこなしている子、皆



それぞれ素晴らしい個性を持った子供がたくさんいて、少しずつ一緒になって遊ぶことができました。

何回か訪れるうちに顔を覚えてくれて、中には抱きついて歓迎してくれる子もいました。純粋な感情表現をしてくれる子供たちに素直に感動しました。本当に嬉しかったです。ありきたりな言葉ですが、言葉は通じなくとも、心では通じることが出来ました。幸せな時間でした。

また、必ず彼らに会いに行きます。それまで変わらず、元気に、幸せな毎日を送ってくれることを願っています。自分も、成長した姿を彼らに見せられるように頑張ります。

【大変だったこと】

移動が大変でした。特に、ホーチミンのベンタイン市場近くにあるバスターミナルからホテルへ帰る際のバス乗車が大変でした。まず、バスターミナルへは必ず大通りを横断しなくてはならず、次々と走ってくるバイクやタクシーを避けながらバスターミナルへ行きます。このバスターミナルは、ホーチミンのあらゆる場所からのバスの終着、

発着ターミナルなので非常に多くのバスがひっきりなしに行ったり来たりします。

バスには行き先ごとに番号がふっており、バスターミナルからホテルまでは28番バスで帰るのですが、その28番バスがいつ来るのか全く分かりません。そして、28番バスが来て全員お客を降ろしたので、いざ乗ろう、と思って乗ったら、車掌さんにまだ乗るかと降ろされ、そのまま28番バスはどこかへ……。次に来た28番バスにはなぜか乗れて無事にホテル近くまで帰れました。乗ってしまえば、統一料金の4000ドンを車掌さんに支払いあとは線路を越えたあたりで車掌さんに「次降りますアピール」をすれば、無事にホテル近くのバス停車位置で降ろしてくれます。

【楽しかったこと】

人との交流が楽しかったです。孤児院で子供と遊んでいるとき、わかばで生徒さんやアンさんと話しているとき、ベントイン市場の店員さんと話しているとき、などなど。今回は同じ時期にボランティアに参加している人がおらず、日本人一人で一週間行動していたため、何よりも現地で出会った人との交流が楽しかったです。



2日目の夜には、わかばの生徒さんがバイクで夜のホーチミンを案内してくれました。活気のある街、昼間と変わらないバイクの量、気持ちの良い夜風、街のにおい、人々の営み、バイクに乗りながら五感で感じたすべてのものが刺激的で今でも鮮明に思い出せます。とても楽しい時間でした。

【持ち物について】 持って行って良かった物、or 持っていけば良かった物など

・持って行って良かったもの

シャンプー、ボディソープ、マスク、サンダル

・持って行けば良かったもの

簡単な名刺

【現地での服装について】 普段の服装や、活動先での服装のアドバイスなど

11月初旬の参加でしたがホーチミンは毎日30度以上あり、普段の服装はTシャツ、短パンで十分でした。スコー

ルや雨に日もありましたが、急激に気温が下がることもなく厚着する必要はなかったです。歩いて移動する場合、汗をかなりかくのでTシャツは多めに持って行った方がよいと思います。

以前の参加者レポートで、孤児院には汚れてもいい服装で行った方がよいと書いてありましたが、泥遊びなどをすることはなく、ご飯のお手伝いをする際にご飯粒がついたりする程度なのでジャージや運動着を持っていく必要はないと思います。

【現地の物価】 食品・日用品・外食・交通費etc・旅行に行かれた方はその費用など

・両替

成田空港で日本円一万円分をベトナムドンに両替しました。一週間の滞在でしたが、普通の生活ならば一円で十分です。メコン川、クチトンネルのツアーにも参加しましたが、一万円の範囲で支払えました。ただ、市場で洋服や時計、お土産を買い、普段の食事も露店ではなくレストランなどで食べるならばプラス五千円かプラス一万円両替すれば大丈夫だと思います。

・値段

●バス

4000ドン

●タクシー

90000ドン（孤児院→ホテルまで）

●バイクタクシー

50000ドン（ホテル→孤児院、アンさんから紹介のバイクタクシーです）

30000ドン（ホテル→ツアー会社）

●露店のパン

15000ドン

●露店の弁当

30000ドン～50000ドン

●ベントイン市場昼食

50000ドン～

●ベントイン市場ジュース

40000ドン



●カフェ 昼食

70000ドン～

●カフェ ジュース

40000ドン～

●メコン川、クチトンネルツアー

各200000ドン（チケットはアンさんにとっていただきました）

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

ホテルは「Thien Huong」です。わかばまで歩いて5分～10分、28番バスの停留所からは5分ほどの場所にあります。ホテル内は清潔で、ベッドも大きく快適でした。クーラー、テレビ、扇風機、机、椅子、冷蔵庫などがありました。自分の泊まった部屋のテレビはなぜか映りませんでした。Wifiも自分の部屋は弱かったです。

洗面所には歯ブラシなどがありましたが、シャンプー、ボディソープ、石鹸などはなかったため日本から持参した方がよいと思います。タオルは、バスタオルが2枚あり毎日交換してくれます。

ホテルの近くには、大衆食堂、露店、コンビニがあり食事には困りません。周りの道路は夜もバイクが走っているので真っ暗になるなどの心配もなく、治安も比較的良いと思います。Big Cという大型スーパーには20分ほど歩くと、もしくはタクシーでいきます。コンビニより安いので、またコンビニでは日本のお弁当や総菜、おにぎりなどが売っていないため、Big Cでまとめて食糧や水などを買ったりしました。

【派遣(ボランティア)先について】

どこでどんな活動をしましたか

・孤児院

午前9時頃～12時頃まで

孤児院の出入りは自由なので、行く時間、帰る時間も自由です。ただ、昼食後にはお昼寝の時間があるので朝9時頃に行き、昼食のお手伝いをしたら帰るのがベストだと思います。



ごはん以外の時間は、子供と遊ぶことがメインです。特に何も持っていきませんでした。孤児院にあるブラン

コで遊んだり、孤児院の中を散歩したりしました。ほかの国のボランティア団体の方も来ていたので、そうした人の遊び方を観察しながら、自分なりに楽しんで遊んでいました。

昼食の手伝いは、椅子の準備、エプロンかけ、食事補助などです。自分で食べられない子も多いので、スプーンでごはんを食べさせてあげましたが、食べている子供の姿が本当にかわいいです。また、ただ食べさせるのではなく子供の手にはスプーンを持たせて、自分で食べられるように訓練することも大切だと思います。

・わかば日本語学校

午後4時～9時までの間 アンさんと要相談

わかばは、3～5人程のクラスがほとんどでしたが、全体に教えるのではなく一人一人に対して音読サポート、教科書の問題の答え合わせなどをします。アンさんがやるべきことを指示してくださるので、その範囲が終わるまでは個人のサポートです。範囲が終わったら、雑談や質問に対する回答などをしていました。雑談の中で、わからない日本語や表現があれば、ホワイトボードを使って説明しました。

【やってみたかった事・やり残した事】

特にありません。

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

遅れてしまい申し訳ございません。

今回は、出発まで1カ月を切ったあとの申し込みにも関わらず、迅速かつ丁寧な対応をして頂きありがとうございました。このレポートにも書いたように、自分の価値観を変えるような体験が出来ました。

また、海外ボランティアに行く機会があれば是非CEC様を利用させて頂きたいと思います。その時は宜しくお願い致します。

ありがとうございました。